

- 
- ★ 基本
 - ★★ 活用
 - ★★★ 実践

★ レポート作成のための 図書館利用基本ガイド

2022年6月 第8版

城西大学水田記念図書館

目次

1. レポートとは
2. 文献とは
3. 文献を調べる
4. 文献を入手する
5. 文献の出典を表示する



レポートとは

■ 1. 大学の成績評価方法

大学では、授業の内容をノートにまとめて、記憶する、だけでは成績の評価は与えられません。

大学の一般的な成績評価方法	
試験	筆記
	実技
	口頭発表
レポート	提出
	口頭発表（プレゼンテーション）
論文	卒業論文

■ 2. レポートとは

主なレポートの種類
授業の内容をまとめるもの
指定された資料を読んで、その内容をまとめるもの
実験などを行い、経過や結果をまとめるもの
与えられた／自分で決めたテーマについて、自分で調べて、その調査・研究成果をまとめるもの。

レポートや論文は、感想文ではありません。相手（通常は担当教官）に読んでもらい、評価してもらうように書く必要があります。ただ自分の意見を書きつらねたものは、一般的にレポートとは呼べません。また論文では、これまで発表されていない自分の見解を主張することが、何より重要です。

むしろ、どちらも人のものやウェブサイトの内容を丸写ししたものなど、相手にされません。

■ 3. レポートを書くには

レポートや論文作成の一般的なステップは、

1	テーマの選択	6	文献の読解と整理
2	事前調査	7	最終アウトライン作成
3	仮アウトラインの作成	8	執筆・校正
4	関連文献の調査	9	出典の表示
5	文献の入手	10	仕上げ

大枠として、テーマ設定 → 調べる → 考察 → 執筆 の流れと言えます。主にこの「調べる」部分で、文献と呼ばれる資料が必要になります。

文献とは

■ 1. 文献とは

例えば「天気」について知りたいとき。何をみると、効率的に調べられるでしょう。

知りたいことの例 <テーマ:天気>	効率的に調べられる (調べられそうな)もの
今日の天気、今週の天気	新聞、ウェブ
猛暑と経済の関係	図書、雑誌、論文、新聞
天気と体調の医学的関係	図書、論文
気象衛星ひまわり 1号打ち上げ の新聞記事	新聞
最近10年間の気温変化	統計(年鑑・白書類、ウェブ)

この「調べられるもの」が、文献ということになります。

■ 2. どの文献を使うか

今日の天気を図書で調べる人はいないでしょう。気象衛星第1号の新聞記事をウェブで調べても、なかなか出てこないはず。当時の新聞を見る方が効率的です。自分の知りたいことによって、調べるもの(文献)は変わります。

ウェブは便利ですが、検索したものをきちんと見定める目が必要です。ウェブであれば、まずは公的な機関のサイトを参考にすると良いでしょう。

また例えば、官公庁が出版する白書の最近分は、冊子とともに、ウェブ上で公開されています。逆に昔の分は冊子しかない場合が多く、媒体の使い分けも必要です。

■ 3. 文献の種類と特徴

主な文献の種類	特徴
図書	特定テーマについて体系的にまとまり、情報量がある。レポート・論文に欠かせない情報源。
雑誌記事	特定テーマをコンパクトに取り上げている。
新聞記事	速報性を重視している。
統計	特定テーマの動向・データを調べるのに便利。
ウェブ	便利、検索が速い。信ぴょう性が低い情報も少なくない。流通する情報は、全体のごく一部。

文献を調べる(1)

■1. 図書を調べる

データベース「城西大学OPAC」を使う

「城西大学図書館OPAC」とは、城西大学図書館にどんな資料があるのか、つまりは蔵書を検索できるもので、検索の基本・必須ツールです。

OPACでは、入力されたキーワードが、蔵書の書名や著者名などに含まれているかどうかを検索します。例えば、地震について調べる場合。「津波の予知」をキーワードとして検索すると、「津波の予知」という語を含むものがなければ、ヒットしてきません。

そうした“書名”などではなく、そうした“内容”の資料がほしい場合、関係しそうなキーワードをピックアップして、その語を入力します。

「津波の予知」ならば、「津波・予知」のほか「地震・災害・予測・メカニズム」など関連する言葉。また入門的な資料に絞りたいければ、「入門・概説・図説」などの言葉もキーワードの候補となるでしょう。また古いものを避けるため、出版年で絞り込むことも有効です。

■2. 雑誌記事や論文、新聞記事などを調べる

各種データベースを使う

城西大学 OPAC では、雑誌の特集記事が検索可能です。特集以外の記事や新聞記事は、用途に合ったデータベースを選んで下さい。なおデータベースには、学術論文や、多数の辞書・事典を検索できるものもあります。

*図書館ホームページ > データベース集

データベース例	調べられるもの
城西OPAC	城西の蔵書
CiNii Research	研究データ、論文、本、博士論文、 プロジェクト(科研費ほか)
日経テレコン	日本経済新聞記事、企業情報ほか
日経BP 記事検索	日経BP社発行雑誌「日経ビジネス」など
ジャパンレッジ	各種百科事典、辞書などの横断検索結果、一部 雑誌などの記事

青背景のものは無料、緑背景は契約データベース。

文献を調べる(2)

■3. 統計を調べる

特定のテーマについて調べるとき、その動向や、データをつかむことは大事な要素です。

例えば「人口問題」をテーマとしている場合に、ただ「日本の人口が減っている」と書いただけでは、説得力に欠け、信憑性も薄い印象を与えます。

同じ話題でも例えば、「日本人の人口は平成 16 年をピークに減り続け、平成 16～23 年の間に、およそ 86 万人減少した（総務省統計局「人口推計」ほかより）」などの方が、数値が示されることで説得力があり、総務省のデータという根拠が信憑性につながります。

また先の例では「日本の人口」と書き、後の例では「日本人の人口」と書いています。前者では在日外国人を含むのか不明です。後者を調べた際に、そうした考慮が必要なこともしかりました。

なお人口減少のような大きな話題は、新聞にも掲載されます。一緒に記事を調べておくのも良いでしょう。

統計を調べるもの（下記の他にもあります）

年鑑 「〇〇年鑑」は、〇〇というテーマについて 1 年間の展望・調査・統計・解説などを収録しています。

白書 「〇△白書」は、政府の各省庁が、所管する〇△というテーマについての行政活動の現状や対策・展望などを知らせるための報告書です。

*図書館ホームページ > データベース集

データベース	調べられるもの
城西OPAC	年鑑・白書（検索オプションの配架場所 = 1F 統計・白書・年鑑類で検索）
e-Stat	各府省庁の統計情報

データベースのほか、各機関が公開している統計情報は、各統計サイトは、図書館ホームページの情報リンク集からもアクセスできます。

文献を入手する

<基本>

■ 1. 図書館に配架されているものを入手する


「配架」とは、棚に並べてあることです。必要な図書や雑誌、新聞などを調べ、図書館に所蔵されていることが分かれば、借りに行きましょう。

種類	主な適対場所 (OPACで確認)
図書	<ul style="list-style-type: none">• OF 図書 … 原則貸出可• 3F シラバスルーム<ul style="list-style-type: none">… 貸出可、禁帯出ラベルありは不可• OF 参考図書、年鑑・白書類、二次資料<ul style="list-style-type: none">… 禁帯出 (館内利用専用) <p>※並びは場所ごとに請求記号 (背ラベル) 順</p>
雑誌	<ul style="list-style-type: none">• 1F 雑誌 … 最新年のもの、貸出可• 書庫OF 製本雑誌 … バックナンバー、貸出可
新聞	<ul style="list-style-type: none">• 1階 … 最新 ~ 3ヶ月分、 日経と朝日は縮刷版で最新年分• 書庫 … 日経と朝日の昨年度分以前

<応用>

■ 2. オンラインでフルテキストを入手する 各種データベースを使う

データベースで調べられる文献情報は、文献のタイトルや著者名、雑誌記事ならばさらに掲載雑誌タイトル・巻号・ページ数、などが基本です。

ただし、図書館で購入している電子ジャーナル/ブックならば、フルテキストをオンラインで入手できます。方法はデータベースにより異なりますが、 というアイコンがあれば、クリックしてみてください。入手方法を案内します。

■ 3. 所蔵のない文献を、学外から取り寄せる ILL (学外文献複写・現物借用) を依頼する

蔵書がない場合のため、ILLというサービスもあります。図書は借用、雑誌記事は該当部分の複写を取り寄せられます (学生無料)。

文献の出典を表示する

<出典の表示>

■ 1. 著作権について理解する

他人の著作物（文献）を参考・引用してレポートや論文を書いた場合、（特に引用した時は）その出典（何から引用したのか）を表示する必要があります。

なぜか？… では、なぜ他人の著作物を勝手に使ってはいけないのか考えましょう。他人が執筆した文章や作成した図・グラフなどは、相応の費用や時間、労力がかかっています。それを勝手に使うのは、著作者の努力をないがしろにするものです。

この努力を守るための権利・法律として「著作権」があります。著作権は出版物だけでなく、幼児の絵にも、ツイッターの書き込みにもあります。

■ 2. 著作権で認められていること

引用について、著作権（法）では、第三者が引用することを「例外的に、条件付きで」認めています。逆に言えば、条件を満たせば、引用は無断で可能です。

著作者以外の第三者が、引用することを認められる（満たすべき）条件は、

①	引用元が、公表された著作物である。
②	引用する必然性がある。（自分の執筆物の内容に無関係な場合は不可）
③	自分の文章が「主体」である。（丸写して、ちょっと自分の文章を加えるだけ、は不可）
④	引用箇所が分かるようにする。
⑤	何から引用したのか、出典（引用元）を表示する。

■ 3. 出典の表示項目（一般的なケース）

図書	著（編）者名、書名、出版社、出版年
雑誌記事	著者名、記事タイトル（論題）、掲載誌名、巻号、出版年月、掲載（開始&最終）ページ
インターネット	作成者、タイトル、URL、閲覧年月日

引用ではなく「参考」も同様にすると良いでしょう。

■参考文献

紀伊國屋書店

「情報の達人 第1巻 図書館へ行こう！

インターネット時代の情報活用入門」

「情報の達人 第2巻 ゼミ発表をしよう！

テーマ選びからプレゼンテーションまで」

「情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう！

誰にでも書ける10のステップ」

2007年

※上記は図書館で所蔵しています。全3巻のDVDで、レポート・論文執筆に役立つ情報を分かりやすく解説しています。時間のある際にぜひご覧下さい。

レポート作成のための

図書館利用基本ガイド

発行日 2022年6月 第8版

編著者 城西大学水田記念図書館